

埋蔵文化財調査センターだより

第 31 号

大津 むかいむかい

2022. 3.31

遺跡紹介 1

錦織遺跡(桜野町一丁目)

錦織遺跡は、667 年に天智天皇が都を大和飛鳥から近江大津へ遷都した大津宮が営まれていたことで著名な遺跡です。ただ、その宮跡は長く特定されず、幻の都と呼ばれていました。ところが、1974 年(昭和 49 年)大型の柱穴が整然と並んで検出され、その後の調査から、現在は錦織二丁目周辺が宮跡と考えられるようになりました。

今回調査した区域は、宮中心部の南東約 300mの地点で、過去の周辺の調査から何らかの集落跡が見つかるかと推測されていましたが、思いがけず、古墳を示す遺構が見つかりました。円墳の周囲に巡らされた溝である、周濠の一部が確認され、さらに周濠の中からは、円筒や家形の埴輪の破片が多く出土しました。錦織遺跡で、古墳や埴輪の発見は初めてのことです。また、古墳は丘陵上につくられることが多いのですが、今回の調査では平地、琵琶湖に近い位置で検出されたことも注目されます。



【錦織遺跡出土 家形埴輪片 屋根の部分か (想定復元 高さ 50cm 幅 45cm 程度)】

Q：何がみつかったのですか？

A：幅 4.5～5.0m、深さ 0.7m 程度でやや湾曲する溝が検出され、その濠の中から円筒埴輪や家形埴輪の破片が多量に出土しました。この埴輪片の出土により、溝は古墳の周濠であることが、はっきりとわかりました。

Q：なぜ埴輪が見つかったら古墳とということがわかるの？

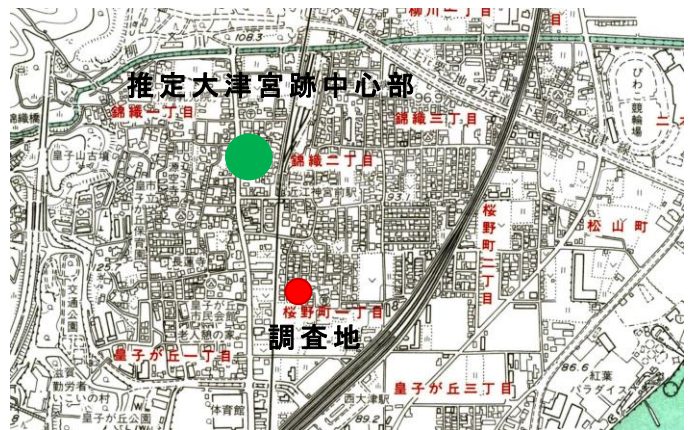
A：埴輪は古墳の墳丘に立て並べて柵の代わりや死者を護る役割を果たしていたのではないかと考えられています。墳丘に立てていたものが転倒して周濠から見つかったのです。濠の下層は泥の層で、埴輪片は泥層から多く出土しました。

Q：どんな古墳だったのですか？

A：周辺の状況などから径 30m ほどの円墳と確認しました。円筒埴輪の製作技法などから、古墳時代前期後半頃… 4 世紀後半頃に作られた古墳と思われます。墳丘部分は削平を受け、死者が葬られる埋葬施設や、それに伴う副葬品などの遺物は検出されませんでした。

Q：被葬者は不明なのですね。見つかった円筒埴輪・家形埴輪ってどんな埴輪なのですか？

A：円筒埴輪は、円筒形…土管状



【錦織遺跡 周溝 埴輪検出状況（北から）】



【周濠東半 埴輪検出状況詳細】

の筒形の埴輪です。3世紀後半頃、埴輪として最初につくられ始めました。壺を乗せていた器台という土器が変化して、円筒形になりました。家形埴輪は4世紀頃、円筒埴輪より後につくられ始めたもので、家や倉庫などの家屋を形どっています。今回の調査では、屋根の一部や壁の部分などがみつかりました。家形埴輪・円筒埴輪とも、赤く塗られている箇所が残っています。

Q：赤色には魔よけの意味が込められているのですか？

A：悪霊退散…。または被葬者の再生の意味もあったのかもしれませんが。石室や棺などに朱が残る場合もあります。古墳時代の葬送は、赤で表されていたようです。

Q：大津宮遷都前に、近くに古墳があったことがわかりました。白鳳時代に宮域を整備するために、古墳の上部をこわしていたのですか？

A：土器類では、4世紀初頭～6世紀頃のものが見つっています。6世紀頃の大形の須恵器壺が、周濠内の埴輪片の上位から見つっていることから、この古墳は6世紀頃まで存在していて、人の手によっ

て整地されたものと考えています。大津宮とどのような関係があったかはわかりませんが、琵琶湖からよく見える場所に古墳を築かせた被葬者は、湖上交通をおさえていた勢力のひとりであったと考えられます。



【円筒埴輪(直径 35 c m 程度・高さ不明)】



【家形埴輪参考例（宇治市庵寺山古墳出土）】



【円筒埴輪参考例

（長岡京市塚本古墳出土）】

遺跡紹介1

あ の う 穴太遺跡(下阪本二丁目)

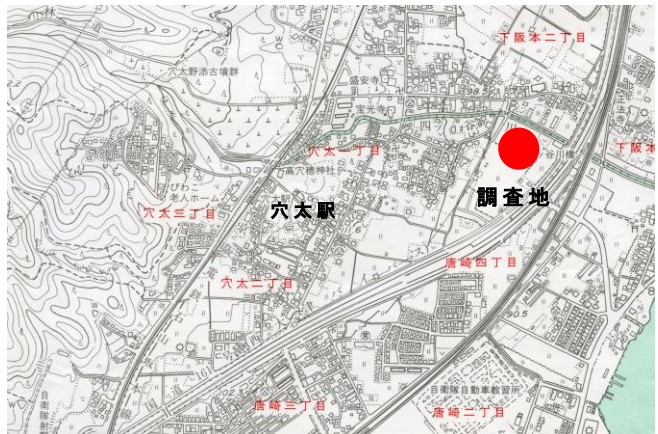
穴太遺跡は縄文～平安時代にかけての複合遺跡です。遺跡の範囲も広く、当調査地のほか弥生町、唐崎三～四丁目、穴太一・二丁目に所在しています。遺跡の範囲内には、白鳳時代の寺院とされる穴太廃寺があることが著名です。また、場所は不明ですが、古代律令制のもとで五畿七道沿いにおかれた駅家の存在も考えられています。今回は、遺跡の北東部にあたる場所で調査を行い、特に、墨書土器と呼ばれる墨で字が書かれた土器が、4点出土しました。

Q：どんなところからみつかったの？

A：自然流路から出土しました。6世紀後半～7世紀後半に機能していたと考えられています。

Q：土器にはなんて書いてあったの？筆跡が違うようですね。

A：はっきりわかるものは「宮家」です。完形に近いものは2つ、いずれも須恵器の杯身底部外面に書かれていました。地形の高い西側から流れてきたようです。「宮家」の意味を示す、何かの施設があったのかもしれない。



【穴太遺跡 流路跡】



【墨書土器「宮家」】



■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 土・日・祝祭日・

年末年始(12月27日～1月5日)

■入館料 無料(講座等は有料です)

■交通 JR唐崎駅から徒歩20分

京阪電鉄石坂線滋賀里駅から徒歩5分

2022.3.31 発行 大津市埋蔵文化財調査センター

〒520-0006 大津市滋賀里一丁目17-23